

最近の雇用失業情勢（令和8年4月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.26倍（季調値）」（前月から0.01ポイント上昇）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月から0.01ポイント上昇**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が上昇しているが、一時的な動きも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は製造業、建設業等で増。公務・その他、宿泊業・飲食サービス業等で減。

[新規求人数]

当月：4,637人 公務・その他等の減員により－101人
（前年同月 2.1%減）

[産業分類別]

○「増」（対前年同月比）

【製造業】当月：516人 前年同月：+64人

【建設業】当月：529人 前年同月：+65人

【医療・福祉】当月：1,042人 前年同月：+85人

○「減」（対前年同月比）

【公務・その他】当月：71人 前年同月：－34人

【宿泊業・飲食サービス業】当月：342人 前年同月：－75人

【卸売業・小売業】当月：546人 前年同月：－119人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.09倍 前年同月：－0.07P

【米子所】当月：1.26倍 前年同月：－0.03P

【倉吉所】当月：1.24倍 前年同月：－0.10P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.05倍（4か月連続で前年同月を下回る）
→全国指標0.95倍（9か月連続で前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：2,899人（前年同月2.6%減）